

SEIAN

VOL.

12

発行日 | 令和6年9月1日

発行者 | 学校法人京都成安学園 理事長 山田崇

編集 | 学校法人京都成安学園 法人本部

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120

E-mail. houjin_soumu@seian.ac.jp

Web. www.seian.ac.jp

——
デザイン | 外山央

撮影 | 丘澁平

EAT MEET ART



結
YUI



理事長挨拶

理事長就任のご挨拶

令和6年4月1日に開催された理事会におきまして、学校法人京都成安学園の第10代理事長に選任され、同日、就任いたしました山田崇でございます。前任者である小林徹前理事長は11年間にわたり本学園の発展に大きく寄与され、近年例を見ないパンデミックの中、学園の確固たる礎を築かれました。私は、この功績をさらに発展させるべく、パンデミック明けの世界で新たなステージへと皆様とともに歩んでいく所存です。

近年、社会は目まぐるしい変革を必要としています。それに答えるには、社会や時代のニーズに沿った学園運営を行うことが必要です。本学園は成安裁縫学校から始まり、時代のニーズに沿って現在の体制を築いてまいりました。今後も社会や時代のニーズを敏感に察知し、建学の精神を尊びながら学園を運営することが重要だと考えております。

大学におきましては、産官学連携を今以上に推し進めてまいります。本学園は、建学の精神として、「成安」「誠と熱」と並んで「実践教育」を謳っています。連携をすることによりキャリア教育を学び、自身が学ぶ教育が社会にどのよう役立つのか、実戦で学びた多くの気づきがあれば社会観が大きく広がるのではないのでしょうか。教育は社会の礎であり、人間形成の場でもあります。様々な経験を大きく羽ばたく学生であるよう願っています。

少子化、人口減少の影響を真っ先に受ける幼稚園におきましては、園児の獲得が本園のみならず喫緊の課題です。地域における子育ての支援という観点のみならず、減少の一途を辿る労働力人口を下支えする機能や保護者の社会参加をサポートする機能を担う教育機関として、大学との連携を行いながら、これまで以上に地域に根差し地域に必要とされる幼稚園となれるよう努力いたします。

人は年齢とともに感動が薄れてくると言われています。いつまでも感動を覚える人間であれば、人は年齢に関係なく成長し続けるのではないのでしょうか。そのような人間形成に寄与できれば幸いです。

最後になりましたが、私は学園の建学の精神を大切に、学生・保護者、そして地域社会の皆様方や教職員のご支援とご協力を得ながら、学園の発展に努めて参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年9月1日
学校法人京都成安学園
理事長 山田崇



山田崇理事長 (就任記念会見)

理事長退任のご挨拶

この度、京都成安学園の理事長を退任いたしました。11年の間、多くの皆様方の御協力、御支援のお陰で無事責務を果たせたことは大きな喜びであり、皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。ここで、この間の主な出来事、思い出を挙げてみます。

建学の精神の再構築と学園創立100周年記念事業

学園創立100周年を機に、本法人の建学の精神について慎重に検討し、学祖瀬尾チカ先生の発言の記録やこれまでの学園の歴史等を踏まえて再構築しました。また、学園創立100周年記念事業として、幼稚園における安全で快適な保育環境の実現を目的とした遊戯棟を含む園舎建替事業を実施しました。

YOHAKU、YOHAKUIIIの完成

学生のアイデアを組んだ成安造形大学学生専用アパートメント計8棟・138室が完成、遠方から入学した学生に喜んで頂くことができました。

成安造形大学志願者・入学定員の増加

定員を充足するのに苦労していた時期もありましたが、教職員の努力と、成安のカルチャー＝少人数で家族的な温かい校風が評価され、応募者も増加、入学定員も200名から220名に増加することができました。

成安幼稚園満3歳児保育の導入

幼稚園の子育て支援機能強化のため、満3歳児保育と満3歳児までの間のプレ保育「わかばぐみ」を開始しました。

このように様々なことに取り組みましたが、人口減少社会においてはより戦略性を磨き、成安の強み、良さを育まないと存在価値が認められなくなるかも知れません。100年を超える歴史と建学の精神である「成安」「誠と熱」「実践教育」のもと、大学にあっては小規模であるが故の強みと教職員のたゆまぬ努力、熱意によって育まれた面倒見が良いという評価、それらに加えてこれからの社会に必要とされる芸術や文化に知見のある有意な人材を輩出し続けること、幼稚園にあっては、地域の子育てサポートの核であり続けることが本学園の使命であると考えております。引き続き、皆様方の温かいご支援を切に願い、また、皆様に感謝を申し述べて、御礼といたします。

ありがとうございました。

令和6年9月1日
学校法人京都成安学園
前理事長 小林徹



小林徹前理事長(左)と山田崇理事長(右)

成安造形大学開学30周年記念事業

「成安 ホームカミングデー 2023 30th Anniversary」事業報告

本学は令和5年度で開学30周年を迎え、この節目の年にホームカミングデーを開催しました。ここでは、当日のイベントの概要、参加者数等について報告いたします。

【イベント概要】

1. イベント開催日時

日時:2023年11月11日[土] | 天気:くもりで肌寒い一日

2. 主なイベント

ホームカミングデーの開会宣言と大学30周年セレモニー

学長のあいさつと同窓会会長のあいさつ。

フリータイム

無料でご利用いただけるキッチンカーとドリンクコーナーを設置。

成安アートマーケット

在学生による個性豊かなアート作品の展示・販売。

懐かしのキャンパスツアー

昔からある場所や変わった場所を訪れ、参加者に改めてご案内。

ラジオ-セイアンデンバBB

学生MCがOB&OGをゲストに迎え、学生時代の思い出や現在の活動について放送。

ファッションショー

コスチュームデザインコースの学生が制作した衣装を披露。

成安造形特撮部ヒーローショー

特撮部による迫力満点のヒーローショー。

同窓会かいつぶり特別企画「おもちつき&ぜんざい」

同窓会が企画したお餅つきとぜんざいのイベント。

キッズホーム

託児サービス。

ライブ演奏

本学教員と卒業生によるライブ。

コミュニティスペース結の試食会と30周年を振り返る展示

30周年を記念して「結」がリニューアル。その試食会と30周年を振り返る展示。

同時開催:

成安造形大学開学30周年記念展覧会
 2023 秋の芸術月間 セイアンアーツアテンション16
 「Error of Reality」
 2023年10月13日[金]-11月11日[土]

3. 参加者数

卒業生:174名(事前申込者150名、当日受付者24名)／同行者:58名
 退任された教員:5名／聚英会、さざなみ会、教育後援会:15名／合計:252名
 ◎スタッフ
 教員:31名／職員:37名／学生スタッフ:63名／看護師(派遣):1名
 幼稚園教員:2名／合計:134名／参加者、スタッフ総計:386名

【結果】

「成安 ホームカミングデー 2023 30th Anniversary」は多様なイベントで卒業生や関係者を魅了し、大成功に終わりました。参加者数は予想を上回り、各イベントは賑やかで活気にあふれていました。特にファッションショーやヒーローショーは大きな反響を呼びました。

【おわりに】

成安造形大学は30年の歴史を振り返り、ホームカミングデーでその歴史と未来を共に祝いました。今後も卒業生との結びつきを深め、これからの成安造形大学を発展させていく誓いができたのではないのでしょうか。最後に、このイベントに参加していただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に心からの感謝を申し上げます。



開学30周年記念展覧会 2023 秋の芸術月間セイアンアーツアテンション16「Error of Reality」を開催しました

キャンパスが美術館では、開学30周年記念展覧会として2023 秋の芸術月間セイアンアーツアテンション16「Error of Reality」を開催しました。この展覧会では、私たちが持つ現実世界への感性や認識にわずかなエラーを起こさせ、別の視点から世界を捉えるための想像力を駆動させる、ユニークでユーモアのある5組の作品を紹介しました。

スクールバス停留所の横にあるバスストップギャラリーでは、展覧会のインフォメーションと本学客員教員の虚構新聞社主UK先生の授業で学生が制作した「虚構新聞 32の号外」を貼り出しました。「虚構新聞 32の号外」はバスストップからコミュニティスペース「結」に向かう道中の様々な場所に掲示され、「空気椅子、発売決定」や「アボカドから真珠」など、ユニークな発想を活かした紙面が本展のテーマを象徴する作品として学内を彩りました。本館棟スパイラルギャラリーと棟ギャラリーキューブでは、本学卒業生である谷平博さんの作品を展示しました。谷平さんの作品は、自身が扮した架空の人物を鉛筆で細密に描いた迫力ある絵画作品で、加藤賢治館長によるマレビト信仰の解説と合わせて鑑賞者の注目を集めていました。同じく本学卒業生の垣本泰美さんにはG棟ライトギャラリーを担当してもらい、スイスのヴァレー州山岳部

に伝わる古い口承伝承をテーマに撮影された写真作品を展示しました。会期中はライトギャラリー内に仮設の小部屋を作り、小部屋の内と外に作品を配置することで、いつもと異なる展示空間をお楽しみいただきました。I棟のギャラリーアートサイトではギャラリー内の壁面一杯に平瀬ミキさんの映像作品を投影し、エントランスには実際に展示された作品を体験できるブースを設けました。平瀬さんの作品は一つの出来事を前方と後方から同時に撮影し、その映像の不透明度を調整して合成する手法で作られており、人間の身体では捉えることのできない不思議な光景を映し出していました。ギャラリーアートサイトの隣に位置するギャラリーウィンドウでは、今村遼佑さんのインスタレーション作品を展示しました。今村さんは鏡と凸レンズを使って屋外の光景を映像として室内に取り込む作品を制作され、アナログな手法で映し出された映像は、平瀬さんの作品と良いコントラストとなっていました。

本展は、関連イベントとして滋賀県立美術館ディレクターの保坂健二郎氏をゲストに招いたトークイベントや、出展作家によるギャラリートークを含むオープニングイベントを行い、最終的な来場者数は昨年を上回る826名となりました。



2024 秋の芸術月間 セイアンアーツアテンション17「共食-Eating Together-」

今年のセイアンアーツアテンションでは、「食とコミュニティ」をテーマに据えて「共食-Eating Together-」と題した展覧会を開催します。本展では、多様化する社会の中で「持続的な循環」に重点を置きながら新しい可能性を模索する食の在り方に着目し、作品を通じて食とコミュニティの関わりを考察していきます。古来より、伝統的な祭礼には直会という村落共同体にとって大変重要な儀式が行われてきました。これは、「神人共食」すなわち、神様に捧げた神饌(お供物)を神の下に集まる人々が共に食し、共同体の結束を強めるという意味があり、現代に至っても続けられている大切な行事と言えます。日々の暮らしの中でも、人が集まり歓談する場には食べ物が増えられ、味と彩りによってさらに話は弾みます。当然のことですが、食物は人の生存に欠かすことができないものであり、私たちの生命を形作っているからこそ、食生活には時代や文化の影響が色濃く反映されます。今日のように飽食の時代であっても、自然環境や社会情勢の変化は少なからず食に影響を与えており、フードロス解消、地産地消といった「サステナブル(持続可能な)」を志向する動きが生まれています。そして、持続可能な食の在り方を突き詰めて考えてみる

と、自らの基盤となる土地や、そこに根付くコミュニティの重要性が浮かび上がってくるのではないのでしょうか。先述の通り、食は共同体を一つに繋ぐ大切な役割を担っています。元来、「食」と「コミュニティ」は切り離すことができない関係にあり、これからの良き地域社会—暮らしのかたちを創造するためにその関わりは必要不可欠であると考えます。本展で紹介する作家は、いずれも作品から「食とコミュニティ」を想起させつつ、独自の角度からアプローチを行うことで、多様な可能性を提示してくれます。展覧会での鑑賞体験を通して、これからの地域社会や暮らしのかたちを創造する契機となることを目指します。

会期 | 2024年10月15日[火]–11月9日[土]
 時間 | 11:00–17:00
 休館 | 日・月曜
 会場 | 成安造形大学【キャンパスが美術館】
 主催 | 成安造形大学・成安造形大学同窓会



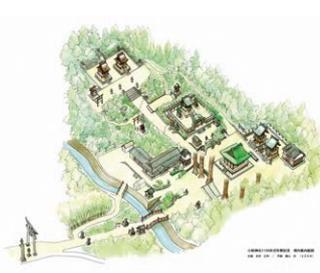
福島淳史《ぼくは独り暮らしの老人に弁当を運ぶ》



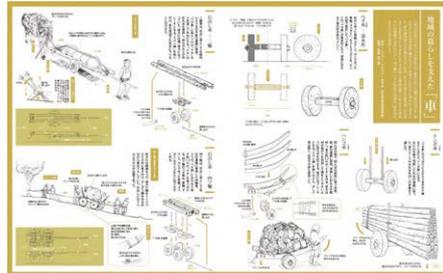
Kosuke Nagata《TRANSLATION ZONE》



谷穹《信楽茶碗》



大原歩《小椋神社御鎮座1150年記念境内絵図》



大原歩《地域の暮らしを支えた「車」》



てらいまき《理想のランチ》



よしだとたかた《レジャーシートのコラージュ 466》

附属近江学研究所

成安造形大学附属近江学研究所設立15周年記念事業「近江学の日」を開催しました

成安造形大学附属近江学研究所は、2008年4月に設立し2023年に15周年を迎えました。同年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、徐々にコロナ禍以前の生活が戻ってきたことを感じられるようになった2024年4月27日、1年遅れてようやく設立15周年を記念したイベントを開催することができました。

「近江学の日」と題したイベントは、近江学のさまざまな魅力を幅広い世代のみなさまに伝えることを目的に、小学生から参加できるワークショップをはじめ、特別公開講座、「MUSUBU地図」の展示、研究員との交流イベントを開催。総勢200名を超えるみなさまにご参加いただくことができました。地域実践領域助教授の山田真実先生による大津絵スタンプのワークショップでは「大津絵は知らなかったけど、意味を知って実際に制作してみると、面白くて、最後には良い作品ができてよかった」、「子どもに戻ったように、たくさんスタンプを押して楽しかった」などお子さまも大人の方も大津絵を学びながら楽しく制作されていました。

特別公開講座では、思想家で神戸女学院大学の内田樹名譽教授を講師にお迎えし、研究所が現在取り組んでいる研究テーマである「コミュニティ」について「コモンの再生」と題してご講演いただきました。「自分が置かれている状況や、これからの日本について深く考える機会になった」、「今後、地域にしっかりと根を張ってしっかりと生きていきたい」などたくさんのご感想をいただくことができました。

滋賀の地を様々な視点から捉えた要素の地図を重ね合わせることで地域の背景を読み解いていく「MUSUBU地図」の展示では、作品の解説とギャラリーガイドを開催。最後は、コミュニティスペース「結」にて、参加者のみなさまに近江学ならではの料理や地酒を味わいながら、研究員とのひとときを楽しんでいただくことができました。



大津絵スタンプワークショップ



特別公開講座講師 内田樹氏



「MUSUBU地図」展ギャラリーガイド



交流イベントの様子

湖西線アートプロジェクト

令和3(2021)年度から実施している西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)との連携事業「湖西線アートプロジェクト」の第3弾となる令和5(2023)年度は、総合領域3年生の演習授業と連携し、近江今津駅を舞台に実施しました。駅がある高島市の名産「高島ちぢみ」を天井から吊るし、吹き抜ける風の流れを視覚的に楽しむことができる作品や、地域住民や駅利用者とともに制作したメタセコイア並木をイメージした作品、ガラス窓から入る光を生かした作品の3つを設置し、駅構内を明るく彩りました。

取り組み期間 | 2023年4月-12月

パートナー(連携先) | 西日本旅客鉄道株式会社

湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会

参加学生 | 総合領域3年生15名

担当教員 | 宮永真実 講師



龍谷大学×成安造形大学 大津市びわこ文化公園活性化チャレンジ

滋賀県大津市のびわこ文化公園を活性化させるため、滋賀県と龍谷大学との共同プロジェクトを展開しました。令和5(2023)年8月には、公園の魅力を引き出すアイデアを創出するワークショップを実施。理系、文系、芸術の各分野からの学生と教員が参加し、創造的な企画を提案しました。11月にはこれらのアイデアの実証実験を行い、公園に新たな活力をもたらしました。このプロジェクトは、学生に他大学との交流や公共空間でのアイデア実現の機会を提供し、地域社会への具体的な貢献を目指しています。

取り組み期間 | 2023年4月-12月

パートナー(連携先) | 滋賀県、龍谷大学

びわこ文化公園ゆうゆうパートナーズ

参加学生 | 総合領域、イラストレーション領域 計2名

担当教員 | 大草真弓 教授、田口真太郎 講師



SEIANドリームプロジェクト(学生特別研究助成金)

令和3(2021)年度より、研究活動の活性化を目的として、「SEIANドリームプロジェクト(学生特別研究助成金)」を実施しています。本学の学生・研究生から枠にとらわれない独創性豊かな研究・制作テーマを募集。採択テーマには、総額100万円の研究・制作資金の助成支援を行うとともに、相談や指導をはじめ、各種外部団体やスポンサー企業とのマッチングなどの活動支援を行います。

seianチャレンジ(学生が取り組む地域活動支援制度)

令和4(2022)年度より、本学の基本理念(教育理念)「芸術による社会への貢献」を具現化する学生の自主的・主体的な活動を支援する「seianチャレンジ(学生が取り組む地域活動支援制度)」を実施しています。地域社会全体に貢献する芸術活動に対して、1件あたり5万円までの助成支援と活動へのアドバイスやサポートを行います。

成安造形大学 卒業制作展 2024

Graduate Exhibition 2024

令和5(2023)年度の卒業制作展は、2月1日[木]-2月4日[日]に京都市京セラ美術館にて、2月8日[木]-2月11日[日]に京都市美術館別館にて開催しました。今回は前半と後半の2回に会期を分け、6領域21コースの学生209人が出品しました。いずれの作品も創意工夫が凝らされた多彩な作品展示となり、多くの来場者で賑わい、関係者からも高い評価を受けました。開催にあたりご尽力いただきました皆さまに深く感謝を申し上げます。

会期 | 2024年2月1日[木]-2月4日[日]、2月8日[木]-2月11日[日]

会場 | 京都市京セラ美術館、京都市美術館 別館

[関連イベント]ファッションショー SEIAN COLLECTION 2024

会期 | 2024年2月28日[水]

会場 | 京都文化博物館 別館ホール



ごあいさつ

成安造形大学教育後援会会員の皆さま、大学関係者の皆さま、平素より本会の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。
 早いもので娘が本学に入学して4年目を迎えます。入学した当時はコロナ禍の只中で、入学式は本人のみ、楽しみにしていた学祭もない中で大学生活スタートとなりました。
 その中で本会の存在を知り、娘と共に大学との関わりを持ちたいと入学と同時に役員となりました。
 後援会役員会に参加してまず思ったのは「大学との距離が近い」ということです。子どもが大きくなるにつれ通っている学校のことはどんどん見えづらくなりがちですが、後援会では大学の今の状況、通っている学生の様子、学食などのサポート面など様々なお話が聞けました。また学生が取り組んでいる個展やグループ展のこともを精査した際には直に学生の創作意欲を感じられ、とても有意義な経験となりました。
 役員会では他の保護者の方々とお話しする機会もあり、雑談の中から生活のことや就活の話など学びも多く、楽しみのひとつとなりました。
 学生の皆さんが健やかに学び、創作活動に専念できるよう、大学と共に考え歩むことが教育後援会の意義だと思っております。
 コロナ5類感染症へ移行して約一年が経った今、戻ってきた日常をよりよく、のびのびとこの大学で過ごせるように微力ながら力を尽くす所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。



成安造形大学教育後援会会長
稲垣尚子

令和5年度 事業報告

令和5年度は、教育懇談会(個別面談)1回、保護者のための就職セミナー1回を開催いたしました

令和6年度 総会報告

成安造形大学教育後援会の令和5年度総会は、昨年度も同じく、議案書を会員に送付し、書面にて賛否を問う形で実施いたしました。令和5年度事業報告(案)、令和6年度役員・監事選出(案)、令和6年度事業計画(案)など計5議案が付議され、承認されました。
 詳細については、別刷版「成安造形大学教育後援会 令和6年度総会報告」をご覧ください。総会と同日に今年度は保護者のための就職セミナーや懇親会、キャンパスツアーも行われ賑わいました。

令和6年度 総会議案

- 第1号議案 | 令和5年度事業報告(案)
- 第2号議案 | 令和5年度決算報告(案)
- 第3号議案 | 令和6年度役員、監事候補者選出(案)
- 第4号議案 | 令和6年度事業計画(案)
- 第5号議案 | 令和6年度予算(案)

令和6年度 役員・監事

会長	稲垣尚子	イラストレーション領域 4年
副会長	長嵩真理子	空間デザイン領域 4年
	中村千秋	イラストレーション領域 4年
	辻貴美子	イラストレーション領域 3年
	上林則子	イラストレーション領域 3年
庶務	原田直紀	イラストレーション領域 3年
	北山恵	美術領域 4年
	樽本敦子	総合領域 2年
	山本由佳里	イラストレーション 1年
会計	出口尚子	美術領域 3年
	佐治和也	イラストレーション領域 4年
監事	若園千景	イラストレーション領域 2年
	稲森麻子	地域実践領域 1年

学生の活動に対する支援

教育後援会では大学に在籍中の学生が展覧会(個展・グループ展)を開催するにあたり経費を補助する制度があります。
 令和5年度の申請は以下の通りです。

令和5年度 成安造形大学教育後援会 学生支援行事(展覧会)補助金

NO.	展覧会名	開催期間	代表者	領域	学年	開催会場名	所在地	参加人数	来場者数
1	GRAVITY 胡陽写真展	2023年7月4日-7月30日	HU YANG	情報デザイン	4年	海風ギャラリー	京都府京都市	1名	40名
2	言えないことを 張峻誠写真展	2023年7月4日-7月30日	ZHANG JUN CHENG	情報デザイン	4年	海風ギャラリー	京都府京都市	1名	40名
3	非「疫」常 汪博文個展	2023年7月4日-7月9日	WANG BOWEN	情報デザイン	4年	ARTiX ³ (アーティクスキューブ)	東京都台東区	1名	50名
4	赤い花 李成蹊写真個展	2023年9月5日-9月10日	LI CHENGXI	情報デザイン	4年	半山ギャラリー	東京都世田谷区	1名	23名
5	ピクセルズ	2023年12月6日-12月10日	上田佳史	美術	3年	堀川御池ギャラリー	京都府京都市	30名	206名
6	MAKINT	2024年3月13日-3月18日	新居知	空間デザイン	3年	アートギャラリー北野	京都府京都市	9名	147名
7	うつろい ~現代日本画の今~	2024年3月6日-3月11日	馬場菜摘	美術	3年	アートギャラリー北野	京都府京都市	6名	274名

令和5年度卒業式・卒業記念パーティー

令和5年度卒業証書・学位記授与式が令和6年3月8日[金]に琵琶湖ホテルにて、竹田晶世本会前会長をはじめ多くの来賓の方にご臨席いただき挙行されました。小崎善通学長より、第28期生200名に卒業証書及び学位記が、研究生8名に修了証明書が授与されました。卒業式に引き続いて行われた学生表彰では、4名の受賞者が読み上げられ、表彰されました。

なお、令和5年度卒業生については、ほぼ全員が令和2年度に入学していますが、同年度は新型コロナウイルス感染症の影響により入学式が挙行できず、その後も様々な制限により、決して充実していたとは言えない大学生活でありました。

そのことを鑑み、社会への門出となる卒業証書・学位記授与式の当日において、入学式中止という喪失感を和らげ、社会での活躍を祈念・応援する演出を検討し、より一層心に残る卒業式となることを願い、特別企画として「琵琶湖ナイトクルーズ」を実施しました。

キャリアサポートセンターからの報告とお願い

令和5年度(令和6年3月)卒業生の進路状況

卒業 者数	就職				進学	その他
	希望 者数	就職 者数	対就職希望者数に 対する就職率	対卒業者数に 対する就職率		
203人	141人	129人	91.5%	63.5%	15人	59人

注1. 卒業者数には、令和5年9月卒業生3名を含む。

注2. その他は、有期雇用期間が1年未満で週30時間未満、臨時労働者、就職準備中、進学準備中など。

令和6年3月卒業の学生は、入学直前にコロナ禍に入り、入学式も実施されずリモート授業がスタートしました。大学に通学しない、友達にも会わないといった想像もなかった学生生活のスタート、さらに、通常の生活に戻ると同時に就職活動が始まるといった、不自由を強いられた学年です。

そんな中でも、個々の学びを充実させるため工夫し、順応する姿をみることも多々あり、頼もしく感じるがありました。

卒業後の進路についても、様々な考えが見えるようになりました。企業に所属し働くだけでなく、自身の生き方を大切に、働く場所、ワークライフバランスを重視する学生が増えました。

多様な個性や価値観が尊重される時代に育ち、デジタルネイティブな彼らの考えに寄り添いながらの進路支援を大切にしました。

キャリア科目では、コロナ禍により減少した、人とかかわりを取り戻すべく、OB、社会人をお招きし、話を聞くだけでなく対話をする中で、コミュニケーション能力を養いました。様々なバックグラウンドを持つ方たちとの接点は、学生が卒業後の進路を考える手掛かりになりました。

キャリアサポートセンターでは、3、9月の年2回、4年生全員を対象にショート面談を実施しました。これを機に、就職相談、応募書類添削、模擬面接など、対面とオンラインで一人ひとりの悩みに寄り添い、個別相談を継続しました。学生のニーズと社会の状況を見ながら、3年生1、2月の合同企業説明会を始め、個別企業説明会やガイダンス、サポート講座など、就活への不安を取り除き、活動できるよう、様々なイベントを実施しました。

4年生(令和6年3月卒)の就職状況

企業の採用活動は、早期化が進み、3年生からの就職活動が一般的になり、学業との両立を駆使し、進路を考える期間が長期化しています。

企業の選考は、オンラインが定着し、対面と両方の選考が実施されることが通常となりました。ゲーム、IT、WEB業界など、企業の採用意欲は活発ですが、希望者も多く、新卒であってもスキル面での向上が求められるようになりました。

希望の就職先と、社会の状況に思い通りにいかない学生もいますが、一人ひとりに寄り添い、本人が納得するまで丁寧に支援を続けることで、就職率は、91.5%となりました。

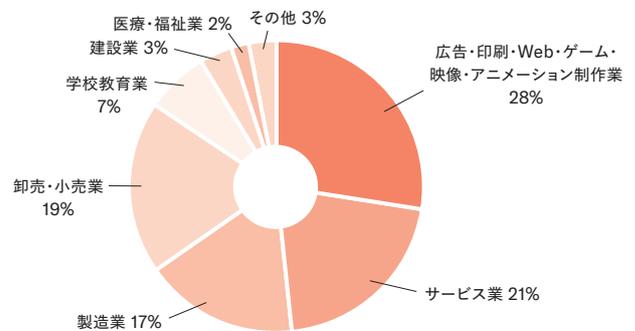
令和6年度入学式

令和6年度の入学式は令和6年4月1日[月]に成安体育館にて挙行されました。令和6年度は、新入生255名、2年次編入生3名、3年次編入生7名、研究生11名が入学すると同時に、本会も新入会員をお迎えすることになりました。

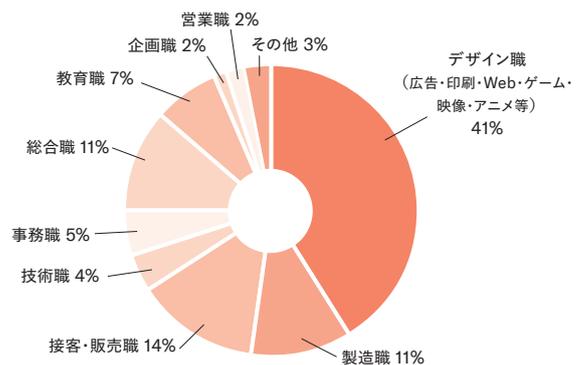
成安造形大学教育後援会OBOG会さざなみ 会報「さざなみ」短信

本会の会報「さざなみ」を、他の団体の会報とともに、京都成安学園学園報「SEIAN」(Vol.12)に合冊して発行する予定でしたが、令和5年度につきましては本会の多くの活動が実施できなかったため、令和6年度については発行いたしません。なお、総会議案の詳細については、別刷版として学園報とともに会員の皆様にお届けする予定です。

就職者の業種



就職者の職種



保護者の皆様へ

キャリアサポートセンターでは、「学生一人ひとりが成安での学び、経験を通じて、自らの価値に気づき、自立(自律)した社会人として成長すること」を目指しています。

1年生から設けているキャリア科目、就職ガイダンス、サポート講座、個別相談は、学生が将来に向けて、自主的に考え行動するためのきっかけ作りです。これらを活用し、学生自らが納得する進路選択ができるよう、個に寄り添い、学生に向き合って支援を続けています。

進路について、ご子息が悩まれているようでしたら、是非、キャリアサポートセンターに相談に行くようお声がけください。学生自身が一步前に踏み出すことが大切です。

祝・成安造形大学開学30周年、ホームカミングデーを開催できました!!

ごあいさつ

少し秋めいてきましたが、会員の皆様、いつも活動にご支援をいただきましてありがとうございます。昨年は、大学と「成安 ホームカミングデー 2023 30th Anniversary」を開催し、過去最多の方々にご参加いただきました。ともに開学30周年をお祝いできたこと、とても嬉しく思います。ご参加いただいた皆様、ご準備くださった皆様に心から感謝を申し上げます。

これからも、親交の場と母校に貢献できればと考えています。引き続き、変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。そして、皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈りしております。

同窓会会長 | 川満 真也(1997年 写真クラス卒業)

大学祭でプチ懇親会のほか、公式初の東京同窓会を開催予定

お陰様で「ホームカミングデーをまたやってほしい!」という声をたくさんいただいています。そんな声にお応えして、ホームカミングデーではありませんが、2024年10月26日[土]に、東京では初となる公式同窓会を開催予定。これまで関西に来るのが難しかった方々もぜひ足をお運びください!! 関西や他の地域からのご参加も大歓迎。その他、9月に行われる大学祭では、ちょっとした懇親会を行う予定です。また、秋のセイアンアーツアテンションをキャンパスが美術館にて予定しています。詳細は、同窓会ホームページなどでお知らせします。ぜひ皆様お気軽にお越しください。



活動報告

令和6年度 第1回役員会議を開催しました

6月23日[日]、オンラインで開催しました。5議案が提出され、すべて承認いただきました。会則第8条に基づき、この役員会をもちまして総会に代えさせていただきます。

令和6年度 第1回役員会議議案

- 第1号議案 | 令和5年度 事業報告(案)
- 第2号議案 | 令和5年度 決算報告(案)
- 第3号議案 | 令和6年度 同窓会役員選出(案)
- 第4号議案 | 令和6年度 事業計画(案)
- 第5号議案 | 令和6年度 予算(案)

卒業記念品の贈呈

令和5年度の卒業記念品としてテント1張を大学へ寄贈しました。響心祭などで活躍することでしょう。

公式ホームページをリニューアルしました!

ホームカミングデーに合わせて、公式ホームページを更新しました。ニュースのほか、クラス会や展示会の申請書、会報も掲載していますので、ぜひご覧ください。また、今後公式SNSの開設も予定しています。



令和6年度 同窓会役員※2013年まではクラス、2014年からは領域となっています。

会長	川満真也	1997年卒 写真		
副会長	宇野君平	1998年卒 立体	田部井勝彦	2002年卒 映像
監事	西川学歩	2000年卒 映像	藤井俊治	2006年卒 洋画
委員	金剛地彩子	1998年卒 芸術計画	吉田周平	2004年卒 写真
	明界要介	2005年卒 住環境	脇本慎也	2005年卒 洋画
	岡田美久	2005年卒 芸術計画	大村大悟	2007年卒 彫刻
	磯部実樹	2013年卒 日本画	佐藤雄亮	2013年卒 イラスト
	中南有佳梨	2014年卒 メディア	大西由起	2020年卒 総合
	柴垣大祐	2020年卒 イラスト	中川陸美	2020年卒 イラスト
	上井彩希	2020年卒 美術	饗場健太郎	2020年卒 空間
	都広志	2020年卒 空間	川村晴香	2021年卒 総合
	武村直輝	2021年卒 イラスト	室原牧人	2021年卒 イラスト
	野一色優美	2021年卒 美術	山本拓海	2021年卒 メディア
	王培基	2021年卒 空間	有澤愛祈	2022年卒 総合
	杉和佳奈	2022年卒 イラスト	吉岡保乃	2022年卒 イラスト
	猪俣悟	2022年卒 美術	森内春香	2022年卒 メディア
	生田和輝	2022年卒 空間	井尻なごみ	2022年卒 地域実践
	大町彩依	2023年卒 総合	土井有里彩	2023年卒 イラスト
	小松明日香	2023年卒 イラスト	永島慎太郎	2023年卒 美術
中村夏波	2023年卒 情報デザイン	窪田祥子	2023年卒 空間デザイン	
佐藤裕紀乃	2024年卒 総合	宮前陽太	2024年卒 イラスト	
堀内望結	2024年卒 イラスト	河野夢菜	2024年卒 美術	
青山芽生	2024年卒 情報デザイン	三崎稜大	2023年卒 空間	
平良珠朱	2023年卒 地域実践			

クローズアップ

つんさんが、「第27回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」の最高賞「岡本太郎賞」を受賞

幼少期から、物が生きて見える、所謂「アニミズム的思考」を持って生きてきた私は、自分らしく生きられなかった幼少期の自分自身を救うために目の前にいる「物たち」に励ましてもらいながら日々を過ごしていました。

そして、そんな空想の世界と現実の世界を行き来しながら大人になりました。便宜上、「空想の世界」と書いてありますが、私にとっては「現実の世界」そのものです。第27回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)で最高賞である「岡本太郎賞」を受賞した《今日も「あなぐまち」で生きていく》の「あなぐまち」とは「頭の 中 の 具体的な 町」の頭文字を取って名付けた私とずっと共に生きてきた空想の町の名前です。

小さな頃から私の頭の中にあった世界を目に見える形で表現し始めたのは岡本太郎賞を受賞するちょうど10年前でした。母曰く、私が2歳の頃から「あなぐまち」のことは口にしていました。あなぐまちと共に生きて40年。あなぐまちを形にして10年。そんな節目の年に受賞できたこと。これまでの半生を肯定してもらえたようなそんな気持ちになりました。

私が生き続ける限り、このあなぐまちもどんどん大きくなります。今までは自分自身を救うためにだけ向き合ってきた「あなぐまち」ですが、受賞と共に自分以外の遠くの人のごとも救うようになりました。「小さな小さな私」が生み出した世界が、いつの間にかどこかの誰かの心に届き始めました。なんだかとても不思議な感覚です。

今は廃校の小学校をアトリエにして、日々あなぐまちの仲間が生まれています。7月13日-9月16日まで熊本県の不知火美術館という素敵な場所での展示も予定しています。ぜひ、生のあなぐまちを体感しに来てください。

——つん(2004年 印刷クラス卒業)



第27回 岡本太郎現代芸術賞展
会期 | 2024年2月17日[土]-4月14日[日]
会場 | 川崎市岡本太郎美術館
(写真はすべてご本人提供)



クラス会支援報告

退任記念展「鉄のシリーズVII「儚き移ろい」 in progress」最終日に、金澤徹先生を囲む会を開催



日時 | 2024年4月13日[土] 15:30-18:00
会場 | 成安造形大学内 コミュニティスペース「結」
対象 | 成安造形大学 写真クラス・コース卒業生・教員など

令和6年4月13日[土]、金澤徹教授が定年を迎えられご退任されることに伴い、キャンパス内のコミュニティスペース「結」にて、「金澤先生を囲む会」を開催いたしました。

金澤先生は、平成7年より29年間にわたり写真クラス・コースのご指導を続けてこられました。今回の会には、1期生から昨年の卒業生までの参加者に加え、これまでの写真クラス・コースの教員や現教員にもご参加いただきました。ご家族連れの方や遠方から駆けつけた方々もあり、久しぶりの懐かしい顔ぶれと共に、カフェテリア「結」の食事のほか、卒業生が営むお店などからの美味しいパンやドーナツ、お菓子などの差し入れをいただきながら、それぞれの近況報告などで話が弾みました。金澤先生も「この会を機に皆さんが旧交を温めていただければ」と述べられ、さながら同窓会のような賑わいでした。

有志による「写真で金澤先生へ近況報告会」では、日々の生活の様子や家族の紹介、現在の仕事についてや新たなチャレンジなど、卒業後の歩みや近況を写真と共に各自で報告し、当時の思い出とともに感謝の言葉をお伝えする、とても感慨深い時間となりました。

当日はキャンパスが美術館のギャラリーアートサイトで、金澤先生の退任記念展「鉄のシリーズVII「儚き移ろい」 in progress」が開催されており、先生のこれまでの作品をまとめて鑑賞させていただくこともできました。短い時間でしたが、多くの思い出を共有でき、金澤先生のご退任を祝うにふさわしい和やかな会となりました。

——垣本泰美(1999年 写真クラス卒業)

お知らせ

クラス会補助金支援を再開。同窓会展覧会補助金制度も申請受付中

休止していたクラス会支援を再開しました。昨年、グループ展支援は、枠を広げて展示会を支援しています。制度の詳細、申請用紙のダウンロードは、Webサイト(<https://kaitsuburi.seian.ac.jp/project/>)から。

住所に関するお問い合わせについて

会員の住所などのお問い合わせについては、ご本人の了解のもとでお教えしています。お問い合わせの際には、学園報をお届けしております送付状のあて先の下に記載の会員番号にて本人確認をさせていただきます。

令和6年度 通算第13回 総会・懇親会報告

本会の令和6年度 通算第13回総会を、令和6年6月16日〔日〕午前11時から日本私立学校振興・共済事業団京都宿泊所「白河院」(京都市左京区岡崎法勝寺町16)において開催いたしました。総会には、令和6年度事業計画案や予算案など計7議案が提案され、いずれも役員会提案どおり承認されました。総会議案の詳細につきましては聚英会のホームページ(聚英会のホームページは成安造形大学のホームページから[大学案内]→[外郭団体/聚英会]へとお進みください)に掲載しておりますのでご確認ください。また、総会終了後の午後12時から、「白河院」におきまして懇親会を開催いたしました。事務局を含めて17名の参加があり、親睦を深めました。

令和6年度 通算第13回総会議案(審議事項)

- 第1号議案 | 令和5年度 事業報告案
- 第2号議案 | 令和5年度 決算報告案
- 第3号議案 | 令和5年度 監査報告案
- 第4号議案 | 京都成安学園役員・
教職員同窓会聚英会会則改正案
- 第5号議案 | 令和6年度・令和7年度 役員選出案
- 第6号議案 | 令和6年度 事業計画案
- 第7号議案 | 令和6年度 予算案



役員改選

令和6年度 通算第13回総会において役員の改選が行われ、設立発起人の一人として本会設立にご尽力いただき、平成24年の本会設立以来、会長として京都成安学園初の役職員OBOG組織を牽引された花山智久会長が任期満了で退任されました。花山前会長には、本会一同、心より感謝申し上げます。後任の第2代会長には、辻喜代治副会長が就任いたしました。なお、花山前会長は副会長に就任し、引き続き本会の運営に携わっていただくこととなりました。



退任の挨拶をする花山会長、左は辻新会長

星野高志郎「同じ刻(とき)を生きる作家展9」作品出品

2024年6月4日-9日迄、京都市美術館で開催されました。私は「海から空へ—2024刻9—」を1点出品しました。高さ83cm×直径60cmの円筒形の立体です。塩化ビニール製の薄い板が基盤で、いずれもの裏表に着色された紙と金糸や色糸が張ってあります。観客が足元のフットスイッチを踏むと、中のLEDライトが点滅する仕掛けになっており、部屋が暗いと一層効果が表れます。この展覧会は、第9回同じ刻を生きる作家展実行委員会の主催で、私の属している京都アートカウンシルの共催です。出品作家は60名を数えて、ジャンルも技法も一切自由であるため、わずか2部屋の壁と床が、おもちゃ箱をひっくり返したような表現の面白さがあります。年齢も20代から90代迄幅広い人達が切磋琢磨しております。

会期 | 令和6年6月4日〔火〕-9日〔日〕

会場 | 京都市京セラ美術館(京都市左京区岡崎円勝寺町124)

※文中、寄稿者の意向で京都市京セラ美術館を京都市美術館と表記しております。



辻喜代治監修 コレクション展 現代染色の屏風祭—祇園祭によせて—

祇園祭の宵山の時期に、山鉾町の旧家や老舗では、先祖代々伝わる美術品や調度品などを道行く人が見られるように飾る風習があり、祭を支えてきた町衆の文化を知る機会にもなっています。祇園祭は、着物や工芸品なども飾られますが、屏風が多く飾られることから別名「屏風祭」の名で親しまれています。

今回の展覧会では、染・清流館の所蔵作品から二曲の屏風を中心に、四曲、六曲の屏風、約25点を展示しました。成安造形短期大学で教鞭をとられた加藤正二郎先生、内藤英治先生、澁谷和子先生、河田孝郎先生の作品も展示しております。そして展示では、屏風本来の展示にこだわり、各自で表現画面の変化や見え方を楽しんでいただくことも目的としました。

会期 | 令和6年6月28日〔金〕-7月28日〔日〕

会場 | 染・清流館

(京都市中京区室町通錦小路上山伏山町550-1 明倫ビル6階)



加藤正二郎氏



内藤英治氏



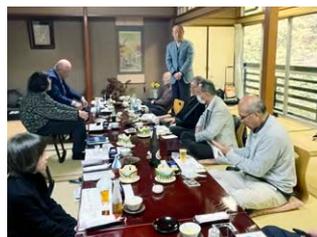
澁谷和子氏



河田孝郎氏

令和5年度会員親睦行事報告

令和5年度の会員親睦行事は、紅葉シーズンの京都の名勝 貴船神社を散策し、ぼたん鍋を味わうという一日でした。出町柳駅に集合し、叡電に揺られながら貴船口駅まで乗車。そこから送迎バスで昼食会場の「貴船喜らく」へ。先に貴船神社にて参拝し、その後、名物のぼたん鍋を味わいました。13名の会員が参加されました。



令和5年度保育証書授与式

令和6年3月15日[金] 第49回保育証書授与式が遊戯室にて執り行われました。藤田朋美園長から園児63名に保育証書が授与されました。ステージに上がって「大きくなったら 消防士になりたい!」など元気に夢をかたててくれました。保護者の皆様もたくましく成長したわが子をほほえましく見つめておられました。小学校に行っても元気で、また幼稚園にも成長した姿を見せてくれることを教職員一同、願いました。



令和6年度入園式

令和6年4月12日[金] 春うららかな桜咲く中、入園式が執り行われました。本年度から3歳児は、満3歳児からの進級ぐみ18名、新入ぐみ22名の合計40名が出席。4、5歳児各1名が入園しました。また、2歳児・満3歳児保育は13名の入園が予定されています。新しいお友だちとの生活に、教員も楽しみでいっぱいです。



せいあんふれあいDAY

コロナ禍により中止していた「せいあんまつり」の規模を縮小し、保護者会の皆さんと共催で令和5年11月11日[土]に「せいあんふれあいDAY」を開催しました。当日は、在園児、卒園児、新入園児、保護者・ご家族の方々をお迎えし、卒園児には新園舎のお披露目も兼ね、たくさんのご参加をいただきました。当日は木枯らし1号が吹く中、芝生園庭も多くの人でにぎわい大盛況でした。



幼稚園・大学教育連携事業

成安造形大学の先生方に6月6日、9月8日、1月15日の3回、ワークショップを実施していただきました。また、未入園児には学生さんも交え、たのしいワークショップを実施していただきました。園児たちは普段とは違う造形活動に時折、大歓声を上げながらかつ真剣な眼差しで作品づくりを楽しんでいました。



令和5年度保護者会様から遊具をご寄付いただきました

はらぺこあおむしのベンチ・テーブル・スツール、どろんこミゼットバギー3台を保護者会様からご寄付していただきました。園庭にはまるで絵本から飛び出てきたようなはらぺこあおむしのベンチ。葉っぱや果物の形をあしらったテーブル・スツール。2歳児でも遊べるかわいい4輪バギーで園庭を駆け回ってあそぶことができます。みんな仲良く、譲り合いながら歓声を上げて楽しんでいました。保護者会様ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



令和5年度保護者会様からカーブミラーを設置していただきました

幼稚園前の道路はS字カーブでかつ幹線道路でJR、阪急電鉄の駅への通り道でもあり、交通量が多いところ。これまでさまざまな対策を講じてきましたが、改めて保護者会様からカーブミラーを設置していただきました。これからは登降園時の安全面を整備していきたいと思ひます。



送迎バス安全装置の設置

静岡県での痛ましい事故を受け、送迎バスの安全装置の装備が義務付けられました。本園でも早速、送迎バスに安全装置を設置し、これまでの人的チェックに加えてブザー・センサー方式の安全確認を行っています。大事な園児をこれからも確実に守っていきたくと思ひます。

第1保育棟保育室内内装改修事業

令和4年度は第1保育棟2階の保育室3室の内装改修を実施し、令和5年度は1、2階の廊下・階段の改修を行いました。廊下・階段の床は木目調に、壁・天井は真っ白になり快適になりました。電灯のLED化も実施し、快適な環境が整い、園児たちも目を輝かせていました。



阪急洛西口駅の成安幼稚園看板全面リニューアル

阪急洛西口駅の看板を車窓風に全面リニューアルしました。園庭が広がる広々とした空間性のあるデザインです。最寄りの方は、是非ご覧ください。



卒園児の活躍 今江敏晃さんがプロ野球楽天監督に就任!

卒園児 今江敏晃さんがプロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」の監督に就任されました。本園で育った今江さんが現役時代のご活躍はもとより、監督に就任されリーグ優勝、日本一を目指しています。みなさんとともに応援し、ご活躍を期待したいと思います。がんばれ 今江監督!がんばれ 東北楽天ゴールデンイーグルス!

令和5年度 寄付者顕彰

京都成安学園では「教育振興」「同窓会奨学基金」「近江学研究所」及び「キャンパスが美術館」への支援を目的として、本学園に縁のある方々に広くご寄付をお願いいたしております。令和5年度にご寄付いただきました皆様のご厚志に感謝し、ここにご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名

星野良子様／相川佳奈様／松本隆様／草木輝子様／岩切和子様
川本静江様／エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社取締役社長 荒木直也様
※五十音順・掲載許可をいただいた方のみ掲載しています。

大学情報

成安造形大学学長を再任



ごあいさつ 学長再任に際しまして

4月以降、継続して学長職2期目を務めさせていただいております。「3年前の就任以降に企図したことが、まだまだ道半ばで区切りがついていませんよ」という叱咤激励を受けまして、統投の意思を固めました。

課題はたくさんありますが、一つは、これまで教育・学務面で中軸を担ってこられましたベテラン教員の皆さんが、昨年度以降、今後4、5年の間に十数名定年退職を迎えられます。私にとりましても厳しい状況のなか一緒に働いてまいりました、まさに同志の先生方です。毎春、後任として新たな教員をお迎えし、世代交代をすすめています。教育機関として、領域・コースの運営を円滑に継続し、充実した授業・大学生活を学生の皆さんに提供することが重要であると

考えています。

もう一つ重要課題があります。領域・コースの再編やラボ(工房)の統合、さらにはそれに合わせたキャンパス整備です。これらもいよいよ今年度から具現化を図っているところです。

慎重かつ大胆に進める必要のある事業が山積ですが、山田崇新理事長と共に、2期目の3年間を邁進してまいる所存です。どうぞ皆様、応援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小崎善通

成安造形大学 副学長

副学長の氏名	担当する職務	備考
泊博雅 (芸術学部 教授)	1 キャリアサポートセンター長 2 入学及び広報に関する校務	学校教育法(昭和22年法律第26号)第92条第4項に基づき「学長を助け、命を受けて校務をつかさどる」副学長
加藤賢治 (芸術学部 教授)	1 キャンパスが美術館 館長 2 研究・連携支援に関する校務	「学長を助ける」副学長

成安造形大学附属近江学研究所からのお知らせ

令和6年度近江学フォーラム会員募集

成安造形大学附属近江学研究所では、近江学フォーラムの会員を募集しています。例年、会場に講師をお招きし、その年の研究テーマに沿った内容の公開講座や会員限定講座を実施しています。滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対し、興味・関心のある方、ご自身の持つおられる知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方は、是非、本会会員にお申し込みください。成安造形大学学生・卒業生及びその保護者、聚英会、旧設置校卒業生、成安幼稚園卒園生の皆様は「学園会員」の対象となり、年会費3,000円(通常5,000円)でご入会いただけます。また、学園会員のご家族も「家族会員」として同額(年会費3,000円)でご入会いただくことが可能です。

令和6年度の近江学フォーラムは、「惣 はじまりのコミュニティ」をテーマにした5つの会員限定講座や、歴史深い土地である大津市堅田周辺で浮御堂や本福寺などを訪ね歩く現地研修を予定しています。その他、会員の皆様には近江学研究所主催公開講座の無料受講・文化誌『近江学』最新号など刊物の贈呈、大学内施設の利用など様々な特典があります。

成安造形大学附属

近江学研究所『紀要』第13号発行

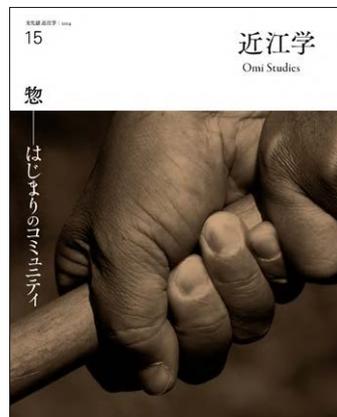
成安造形大学附属近江学研究所の研究活動をまとめた『紀要』第13号をWEBで公開しています。

バックナンバーも下記のURLからご覧いただくことができます。第14号は令和7年3月に発行を予定しています。



<https://omigaku.org/database/>

文化誌『近江学』第15号好評発売中



成安造形大学附属近江学研究所では、近江に関する幅広い分野の第一人者が、多様なテーマで「近江」の地域文化を内包する歴史と美を考察する文化誌『近江学』を発行しています。最新刊・第15号の特集テーマは「惣 はじまりのコミュニティ」。「堅田図」に描かれた琵琶湖岸の集落景観と人々の暮らしの姿、山の利用権をめぐる争論において神前で熱した鉄斧を握って勝利した村代表を顕彰する記念碑、琵琶湖の有人島・沖島や比良山麓の大津市守山地区における新旧住民の交流による新たなコミュニティの創出など、地縁コミュニティの歴史と現状を考えます。現在、各書店・インターネット書店で好評発売中です。定価1,800円(消費税別)。バックナンバーも含めて、近江学研究所でも販売しています。

※次号第16号のテーマは「近江の座」です。令和7年3月に発行を予定しています。

成安造形大学附属近江学研究所

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2118 Fax. 077-574-2120 E-mail. omigaku@seian.ac.jp



近江学HP



<https://omigaku.org/>



近江学X (旧Twitter) | @omigaku



<https://twitter.com/omigaku>



近江学Instagram | @omigaku_seian



https://www.instagram.com/omigaku_seian/

情報公開

1 令和5年度 決算の概要

(1) 資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収入の部

科目	決算額
学生生徒等納付金収入	1,501,738
手数料収入	13,619
寄付金収入	38,004
補助金収入	267,246
資産売却収入	1,647
付随事業・収益事業収入	16,979
受取利息・配当金収入	15
雑収入	95,112
借入金等収入	0
前受金収入	632,283
その他の収入	731,508
資金収支調整勘定	△ 691,324
前年度繰越支払資金	893,863
収入の部合計	3,500,692

支出の部

科目	決算額
人件費支出	1,008,875
教育研究経費支出	525,067
管理経費支出	132,876
借入金等利息支出	6,491
借入金等返済支出	142,148
施設関係支出	27,558
設備関係支出	30,534
資産運用支出	82,283
その他の支出	722,347
[予備費]	
資金支出調整勘定	△ 185,738
翌年度繰越支払資金	1,008,251
支出の部合計	3,500,692

(4) 貸借対照表 令和6年3月31日現在

科目	本年度末
固定資産	7,864,814
有形固定資産	7,523,472
土地	4,514,109
建物	2,558,543
構築物	163,562
教育研究用機器備品	82,509
その他の有形固定資産	204,749
特定資産	313,371
その他の固定資産	27,970
流動資産	1,106,905
資産の部合計	8,971,718
固定負債	1,417,458
長期借入金	976,572
その他の固定負債	440,886
流動負債	996,607
短期借入金	145,772
その他の流動負債	850,835
負債の部合計	2,414,065
純資産の部	11,942,925
繰越収支差額	△ 5,385,272
純資産の部合計	6,557,653
負債及び純資産の部合計	8,971,718

2 定員・入学入園者数・定員充足率の推移

成安造形大学 芸術学部 芸術学科 各年度5月1日現在

学年	年度 現員(人)	性別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)
1年生	令和4年度までの定員 200	男	74	81	66	79	92
		女	160	149	155	174	174
	計	234	230	221	253	266	
	定員充足率	1.17	1.15	1.11	1.15	1.21	
2年生	令和4年度までの定員 200	男	72	71	80	59	74
		女	158	158	144	147	164
	計	230	229	224	206	238	
	定員充足率	1.15	1.15	1.12	1.01	1.06	
3年生	令和4年度までの定員 210	男	69	85	83	92	73
		女	167	168	172	157	158
	計	236	253	255	249	231	
	定員充足率	1.12	1.20	1.21	1.22	1.11	
4年生	令和4年度までの定員 210	男	55	54	73	66	87
		女	194	155	147	155	151
	計	249	209	220	221	238	
	定員充足率	1.19	1.00	1.05	1.05	1.17	
合計	令和4年度までの定員 820	男	270	291	302	296	326
		女	679	630	618	633	647
	計	949	921	920	929	973	
	定員充足率	1.16	1.12	1.12	1.11	1.14	

注1 令和5年度の入学定員1年生220人、2年生204人、3年生204人、4年生210人、合計838人／注2 令和6年度の入学定員1年生220人、2年生224人、3年生208人、4年生204人、合計856人
注3 令和6年度の編入定員は、2年次編入生、3年次編入定員はそれぞれ4人。／注4 定員充足率は、小数点以下第3位を四捨五入。／注5 令和5年度より留年者あり。

(2) 活動区分資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	決算額
教育活動による資金収支	
教育活動資金収入計	1,932,231
教育活動資金支出計	1,666,818
差引	265,413
調整勘定等	49,243
教育活動資金収支差額	314,656
施設整備等活動による資金収支	
施設整備等活動資金収入計	52,115
施設整備等活動資金支出計	108,096
差引	△ 55,981
調整勘定等	10,225
施設整備等活動資金収支差額	△ 45,757
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	268,900
その他の活動による資金収支	
その他の活動資金収入計	649,226
その他の活動資金支出計	803,782
差引	△ 154,555
調整勘定等	43
その他の活動資金収支差額	△ 154,512
支払資金の増減	114,388
前年度繰越支払資金	893,863
翌年度繰越支払資金	1,008,251

(5) 財産目録 令和6年3月31日現在

1 資産総額 8,971,718千円
うち (1)基本財産 7,523,472千円 (2) 運用財産 1,448,246千円

2 負債総額 2,414,065千円

3 正味財産 6,557,653千円

区分	金額	
資産総額	8,971,718	
基本財産	7,523,472	
土地	58,021.26㎡	4,514,109
建物	21,823.69㎡	2,558,543
構築物		163,562
教具・校具及び備品		90,243
図書		194,771
車輛		2,244
運用財産		1,448,246
現金・預金		1,008,251
積立金		313,371
その他運用財産		126,624
負債総額	2,414,065	
固定負債	1,417,458	
うち長期借入金	976,572	
流動負債	996,607	
うち短期借入金	145,772	

(3) 事業活動収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科目	決算額
教育活動収支	
学生生徒等納付金	1,501,738
手数料	13,619
寄付金	38,004
經常費等補助金	266,779
付随事業収入	16,979
雑収入	95,222
教育活動収入計	1,932,341
人件費	1,014,482
教育研究経費	662,735
管理経費	142,483
徴収不能額等	581
教育活動支出計	1,820,281
教育活動収支差額	112,060
外収支	
教育活動	
教育活動外収入計	15
教育活動外支出計	6,491
教育活動外収支差額	△ 6,476
經常収支差額	105,584
特別収支	
資産売却差額	0
その他の特別収入	3,139
特別収入計	3,139
資産処分差額	1,584
その他の特別支出	144
特別支出計	1,728
特別収支差額	1,412
[予備費]	
基本金組入前当年度収支差額	106,996
基本金組入額合計	△ 122,347
当年度収支差額	△ 15,351
前年度繰越収支差額	△ 5,369,921
基本金組取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,385,272

(参考)

事業活動収入計	1,935,496
事業活動支出計	1,828,500

※決算の概要においては、端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

成安幼稚園 各年度5月1日現在

学年	年度 現員(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)	現員(人)
満3歳児	44	-	-	-	0	0
	定員充足率	-	-	-	0.00	0.00
3歳児	104	48	62	45	42	40
	※令和5年度-90人 定員充足率	0.46	0.60	0.43	0.47	0.44
4歳児	105	65	52	59	45	43
	※令和5年度-90人 定員充足率	0.62	0.50	0.56	0.50	0.48
5歳児	105	74	62	51	63	46
	※令和5年度-90人 定員充足率	0.70	0.59	0.49	0.70	0.51
合計	314	187	176	155	150	129
	定員充足率	0.60	0.56	0.49	0.48	0.41

注1 満3歳児の5月1日現在の在籍園児数は誕生日の関係で0人である。

注2 定員充足率は小数点以下第3位を四捨五入。

3 教職員

(1) 教職員数 令和6年5月1日現在

		令和6年度		
		男	女	計
成安造形大学	専任教育職員	32	14	46
	助手	2	6	8
	客員教育職員	8	5	13
	招聘教育職員	12	1	13
	非常勤講師	68	49	117
	計	122	75	197
成安幼稚園	専任教育職員	0	6	6
	常勤講師	1	4	5
	非常勤講師	0	9	9
	計	1	19	20
合計		123	94	217

注1 専任教育職員には、学長(男1人)、副学長(男2人)を含む。
 注2 専任教育職員には、任期制特別任用教育職員及び任期制助教19人(男9人、女10人)を含む。

		令和6年度		
		男	女	計
法人 学校	専任事務職員	3	0	3
	契約事務職員	1	1	2
	計	4	1	5
成安造形大学	専任事務職員	14	12	26
	技能職員	3	5	8
	契約事務職員	2	0	2
	臨時職員	5	14	19
	計	24	31	55
成安幼稚園	専任事務職員	1	1	2
	技能職員	0	1	1
	臨時職員	0	0	0
	計	1	2	3
合計		29	34	63

(2) 令和6年度 階層別・年齢別教育職員数、教育職員1人当たり学生数

令和6年5月1日現在 単位人

	専任教育職員												助手						
	教授			准教授			講師			助教			計			男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
21歳-25歳																	2	2	
26歳-30歳										1	1						2	3	5
31歳-35歳										1	1								
36歳-40歳							1	2	3	1	1	2	2	3	5		1	1	
41歳-45歳				3		3	1		1				4		4				
46歳-50歳	3		3	5	3	8							8	3	11				
51歳-55歳				3		3							3		3				
56歳-60歳	3	1	4		3	3							3	4	7				
61歳-65歳	8	3	11										8	3	11				
66歳-70歳	3		3										3		3				
71歳-																			
計	17	4	21	11	6	17	2	2	4	2	2	4	32	14	46	2	6	8	
教育職員1人 当たり学生数	21.2																-		

注 設置基準上の必要専任教育職員数は27人。うち教授は14人。

教職員異動

令和5年度 教職員 退職

[令和6年3月31日付]
 金澤徹氏(大学 専任教育職員)／櫻井宏哉氏(大学 専任教育職員)
 千速敏男氏(大学 専任教育職員)／島先京一氏(大学 専任教育職員)
 橋詰英樹氏(大学 専任事務職員)／谷本研氏(大学 任期制助教)
 山崎愛彦氏(大学 任期制助手)／瀬川さくら氏(大学 任期制助手)
 伊藤和美氏(大学 任期制助手)／操谷徹也氏(大学 技能職員)
 林寿美氏(大学 客員教育職員)／大谷智恵子氏(幼稚園 常勤講師)

令和5年度・令和6年度 教職員 新規採用

[令和5年10月1日付]
 相馬瑛美氏(大学 任期制助手)
 [令和5年11月1日付]
 寺井陽子氏(大学 専任事務職員)※技能職員からの採用

4 役員・評議員・特別顧問

(1) 京成安学園 役員

役職	氏名	就任
理事長	山田崇	令和6年4月1日 就任
専務理事	山下英利	
理事	小崎普通	令和6年4月1日 就任(重任)
	岡田修二	
	畠山義隆	令和6年4月1日 就任(重任)
	小林徹	
	岩本洋子	
	目片信悟	
監事	人長信昭	令和6年4月1日 就任(重任)
	西久松吉雄	令和6年4月1日 就任(重任)
	三浦常治	令和6年4月1日 就任(重任)
	藤野一郎	

(2) 京成安学園 評議員

番号	氏名	就任
第1号評議員 法人の職員	泊博雅	
	日比野文孝	
	藤田朋美	
第2号評議員 卒業生	川満真也	
	福井千波	
第3号評議員 理事	山田崇	令和6年4月1日 就任(新任) 理事長
	小崎普通	理事・大学長
第4号評議員 学識経験者	坂井昇	
	山本昌和	
	岩本洋子	理事
	目片信悟	理事
	石丸正運	
	小林徹	令和6年4月1日 就任(新任) 理事
	花山智久	
	木村至宏	
	岸野洋	
	松本隆	
	佐藤祐子	
小山昌英		
辻喜代治	令和6年5月29日 就任(重任)	
久保田繁雄		
村岡幸信	令和6年7月27日 就任	

(3) 京成安学園 特別顧問

氏名	就任
草木輝子	令和6年4月1日 就任(重任)
大野俊明	令和6年4月1日 就任(重任)
牛尾郁夫	令和6年4月1日 就任(重任)

[令和6年2月16日付]
 五十川泉氏(大学 技能職員)

[令和6年4月1日付]
 高橋登美子氏(大学 専任教育職員 教授)※任期制特別任用教育職員からの採用
 宮City氏(大学 専任教育職員 准教授)※任期制特別任用教育職員からの採用
 佐野耕平氏(大学 専任教育職員 准教授)※任期制助教からの採用
 林憲子氏(大学 専任教育職員 准教授)※専任事務職員からの採用
 藤井俊治氏(大学 専任教育職員 専任講師)※任期制助教からの採用
 田口真太郎氏(大学 専任教育職員 専任講師)※任期制助教からの採用
 藤川怜子氏(大学 専任事務職員)
 清水美帆氏(幼稚園 専任教育職員)※常勤講師からの採用
 MISSISSIPPI氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)
 待井健一氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)

水野勝規氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)※任期制助教からの採用
 垣本泰美氏(大学 任期制特別任用教育職員 准教授)
 服部由空氏(大学 任期制助教)※任期制助手からの採用
 行吉未彩来氏(大学 任期制助手)
 大巻弘美氏(大学 任期制助手)
 有澤愛祈氏(大学 任期制助手)
 小寺諒氏(大学 任期制助手)
 児玉靖枝氏(大学 客員教育職員)
 森川知美氏(大学 技能職員)
 [令和6年5月11日付]
 浅野美智代氏(大学 技能職員)

功績表彰(表彰式 令和5年11月24日)

学術研究又は教育上特に功労があった者として、大学教育職員7名が功績表彰されました。

[功績表彰者]

田中真一郎氏(大学 教授)
 永江弘之氏(大学 教授)
 松村牧夫氏(大学 教授)
 堀江裕子氏(大学 教授)
 高橋登美子氏(大学 准教授)
 森田健氏(大学 准教授)
 森田存氏(大学 助教)

永年勤続表彰 令和6年度表彰者(表彰式 令和6年7月17日)

[勤続20年表彰]

田中真一郎氏(大学 教授)

[勤続30年表彰]

岡田修二氏(大学 教授・理事)
 泊博雅氏(大学 教授・副学長)

第8代理事長 近藤功氏ご逝去

学校法人京都成安学園 第8代理事長をつとめられました近藤功氏が、令和6年6月7日にお亡くなりになりました。94歳でした。

近藤功氏は、株式会社滋賀銀行 専務取締役、滋賀県監査委員などを歴任、平成19年4月から学校法人京都成安学園理事にご就任、平成21年4月から4年間、理事長(第8代)をつとめられました。この間、学園創立90周年記念事業の推進など本学園の発展に多大な貢献をされました。理事長ご就任中は、評議員もおつとめいただいております。ご葬儀・告別式は、6月11日[火]午前10時から、滋賀県大津市内でしめやかに営まれました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



お詫び

京都成安学園 学園報SEIAN Vol.11(令和5年9月1日発行)のページ番号の順序と校章のレイアウトに誤りがございました。お詫び申し上げます。

ご寄付のお願い

京都成安学園では、「教育振興」「同窓会奨学基金」「近江学研究所」及び「キャンパスが美術館」への支援を目的として、本学園に縁のある方々に広くご寄付をお願いいたしております。皆様方のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

[お申し込み・払い込み方法]

同封いたしております「払込取扱票」で最寄りの郵便局からお振り込みをお願いいたします。また、手続きが便利な本学webサイトwww.seian.ac.jpからのクレジットカードによるご寄付も可能です。本学webサイトの最下部にある「募金について」からお申し込みください。法人からのご寄付についてもお受けいたしますので、事務局までご照会ください。

※webサイトからのお申し込みは、令和7年2月1日-3月31日までの間、経理処理の関係上お取り扱いできません。誠に申し訳ございませんが、詳細は、事務局までご照会ください。

[寄付金の種類と口数]

個人 | 1口5,000円 法人 | 1口10,000円

※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

[寄付金の税法上の優遇措置]

京都成安学園は、文部科学大臣から寄付金の募集に関して「特定公益増進法人であることの証明書」及び「税額控除に係る証明書」の交付を受けています。ご寄付いただきました金額は、税法上の優遇措置を受けることができます。

[ご寄付への返礼]

1口以上のご寄付を賜りました皆様に、本学園オリジナル筆箋をご送付いたします。

お問い合わせ先 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

成安造形大学 総務課 Tel. 077-574-2111(代表)

Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@seian.ac.jp

SHIGA BANK×SEIAN Visa デビットカード 入会のご案内

京都成安学園では、学校法人京都成安学園創立100周年を記念して、滋賀銀行様の全面的なご協力を得て、SHIGA BANK×SEIAN Visa デビットカードを発行いたしております。カードのデザインは、学園創立後間もない大正10(1921)年当時の「成安技芸女学校 吉田下阿達町校舎」の写真を使用したもので、他にはない京都成安学園のオリジナルデザインです。本カードにご入会いただきますと、カード入会支援金がカード発行会社から学園に支払われ、学園の教育研究に充当する仕組みとなっています。これまでも多くの皆様にご入会いただ



いております。案内リーフレットを同封いたしておりますので、ぜひこの機会にご入会ください。

※滋賀銀行の本支店がない地域の方は、このカードのお申し込みができません。案内リーフレットは、滋賀銀行の本支店がある滋賀県、京都府、大阪府在住の方のみ同封いたしております。あしからずご了承ください。

成安造形大学 卒業生子女授業料等減免制度

成安造形大学では、①成安造形大学 ②成安造形短期大学ならびに成安女子短期大学を含む前身の学校 ③京都成安高等学校ならびに成安女子高等学校を含む前身の学校 ④京都成安中学校ならびに成安女子中学校を含む前身の学校 ⑤成安幼稚園を卒業・卒園された方の2親等以内の血族に当たる方または本人が受験される場合、入学検定料、入学金の免除及び授業料を20%減免する制度を設けています。該当する方が成安造形大学を受験される際には、成安造形大学入学広報センターまでお問い合わせください。

※申請時期は、入学1次手続き時です。※本学が設ける他の減免制度(学祖特別、姉妹校、パートナーシップ協定校、指定校、指定枠、特待生)との併用は不可とします。

成安造形大学 入学広報センター

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

Tel. 077-574-2119(直通) Fax. 077-574-2120



京都成安学園 建学の精神
「成安・誠と熱・実践教育」

京都成安学園の歴史は、大正9(1920)年7月17日、学祖 瀬尾チカが成安裁縫学校の設立を京都府知事から認可されたときから始まります。

京都成安学園では、学園名だけでなく成安裁縫学校以来これまで設置してきたすべての学校名に成安という言葉冠してきました。設立当時は「心身ノ鍛錬、誠実勤勉ノ美德、経済的二独立シ得ル実力ノ養成ニ努メ、内ニ在リテハ則チ家庭ノ主婦トシテ、良妻トナリ賢母トナリテ、家ヲ治メテソノ繁栄ヲ計リ、出デテハ則チ国家ノ良民トシテ、国運ノ進展ニ寄与シ得ル新時代ノ婦人ヲ養成スル」ことを目的としていたことから、それらを要約し「成安」と名付けました。時代の変遷に伴い、現在では「成安」について「成とは成し遂げること。安とは安寧であること。つまり成安とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。」と解釈しています。

学祖は、学習と実行の上には、事の大小にかかわらず、誠と熱をもって終始するよう毎日の生活を鞭撻しており、これが学園の指導精神であること、そして、正しい信念からほとばしり出る純真な誠とすべてのものを生かし得る熱をもって生徒に対して範を示さなければ、学校教育において「成安」という言葉が意味するところの目的を達することはできないと説いています。学祖の人生訓でもある「誠と熱」、誠実さと熱意と置き換えても良いこの言葉は、学園の建学の精神であるとともに校訓として、学園に関わる全ての者の歩むべき道筋を照らしています。

設立当時の成安裁縫学校の校則第1条には「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新ラシキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併テ自活学習ノ便ヲ与エ兼テ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と謳われており、女性に自活できる能力を修得させることが学校設立の趣旨でありました。こうした女性の社会的・経済的地位を向上しようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカの体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでした。以来、社会で役立つ知識や技能を修得させる教育、すなわち「実践教育」は本学園における学校づくりの基本的な考え方となっています。

京都成安学園 校訓「誠と熱」

設置する学校

成安造形大学

基本理念(教育理念) | 「芸術による社会への貢献」

学部・学科 | 芸術学部芸術学科

開設 | 平成5年

所在地 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

定員 | 856名

現員 | 973名(令和6年5月1日現在)

成安幼稚園

基本理念 | 「豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる」

開設 | 昭和50年

所在地 | 〒617-0002 京都府向日市寺戸町八反田32-1

定員 | 314名

現員 | 129名(令和6年5月1日現在)※満3歳児を除く。

各団体事務局からのお知らせ

- ◎お名前やおところの変更、おくやみについてのご連絡をお願いいたします。
- ◎大学同窓会では、会員の慶弔に際して電報をお届けいたしております。ご結婚の際は事務局までお知らせください。
- ◎大学同窓会では、会員の皆様から同期会、クラス会、展覧会、入選・入賞などの情報の提供や投稿などをお待ちいたしております。
- ◎各会事務局へのご連絡は「郵便」「電話」「Fax」もしくは「E-mail」にてお願いいたします。
- ◎各会事務局へのご連絡に際しては「大学同窓会事務局」「教育後援会事務局」「さざなみ会事務局」「聚英会事務局」と明記してください。

※成安造形短期大学同窓会京の会に関するお問い合わせは、法人本部(連絡先は下記事務局と同じです)までお願いします。
事務局連絡先 | 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1 成安造形大学 ○○○会事務局(各会事務局名を明記してください)
Tel. 077-574-2111(代表) Fax. 077-574-2120 E-mail. soumu@seian.ac.jp

【個人情報取り扱いについて】

各団体の会員情報は、各会と学園において共同で管理しています。学園では、情報セキュリティ基本規程などに基づいて情報を保全しています。詳細については、大学のwebサイトにてご確認ください。大学同窓会事務局、聚英会事務局では、皆様のご連絡先に関するお問い合わせについては、ご本人の了解がある場合に限りお伝えしています。
※各会事務局へのご連絡の際は、おところ、お名前、会員番号を明記してください。会員番号は、学園報をお届けしている送付状に印字しています。

成安造形大学 令和7年度 入学試験 [詳しくは入学広報センター Tel. 077-574-2119(直通)まで]

総合選抜入試 ※エントリーはインターネット登録/最終日は23:59まで

- [2期] <体験授業方式>
エントリー期間 | 令和6年9月13日[金]-9月27日[金]
試験日 | 令和6年10月5日[土]
- [3期] <面接方式>
エントリー期間 | 令和6年10月25日[金]-11月6日[水]
試験日 | 令和6年11月10日[日]
- [4期] 特待生<実技方式>
エントリー期間 | 令和6年10月25日[金]-11月8日 [金]
試験日 | 令和6年11月16日[土]
- [5期] <面接方式>
エントリー期間 | 令和6年11月18日[月]-11月25日[月]
試験日 | 令和6年11月30日[土]

特別総合選抜入試 ※エントリーはインターネット登録/最終日は23:59まで 書類は期間内必着

- [2期] <面接方式>外国人留学生・海外帰国生・社会人
エントリー期間 | 令和6年9月13日[金]-9月27日[金]
試験日 | 令和6年10月6日[日]
- [3期] <面接方式>外国人留学生・海外帰国生・社会人
エントリー期間 | 令和6年11月18日[月]-11月22日[金]
試験日 | 令和6年11月30日[土]・予備日12月1日[日]

※総合選抜入試(2期)・特別総合選抜入試(2期)以外は、他大学との併願が可能です。
※大学入学共通テスト利用における大学入学共通テストは、令和7年1月18日[土]・19日[日]に実施されます。

一般選抜入試 ※出願はインターネット登録/最終日は23:59まで 書類は期間内必着

- [1期] <面接方式・実技方式>
出願期間 | 令和7年1月6日[月]-1月22日[水]
試験日 | 面接方式 令和7年2月1日[土]、実技方式 令和7年2月2日[日]
- [1期] 外国人留学生<面接方式・実技方式>
出願期間 | 令和7年1月6日[月]-1月22日[水]
試験日 | 面接方式 令和7年2月1日[土]、実技方式 令和7年2月2日[日]
- [1期] 特待生 所得制限型(大学入学共通テスト利用方式)
出願期間 | 令和7年1月6日[月]-1月22日[水]
- [1期] 特待生 所得制限型<実技方式>
出願期間 | 令和7年1月6日[月]-1月22日[水]
試験日 | 令和7年2月2日[日]
- [2期] <面接方式・実技方式>
出願期間 | 令和7年2月3日[月]-2月14日[金]
試験日 | 面接方式・実技方式 令和7年2月21日[金]
- [2期] 外国人留学生<面接方式・実技方式>
出願期間 | 令和7年2月3日[月]-2月14日[金]
試験日 | 面接方式・実技方式 令和7年2月21日[金]
- [2期] <大学入学共通テスト利用方式>
出願期間 | 令和7年2月3日[月]-2月14日[金]
- [3期] <大学入学共通テスト利用方式>
出願期間 | 令和7年3月3日[月]-3月11日[火]

成安幼稚園 令和7年度 園児募集 [詳しくは成安幼稚園 Tel. 075-933-2218まで]

入園願書の受付(入園申込)

令和6年10月1日[火]午前8時から開始 会場 | 成安幼稚園 事務室